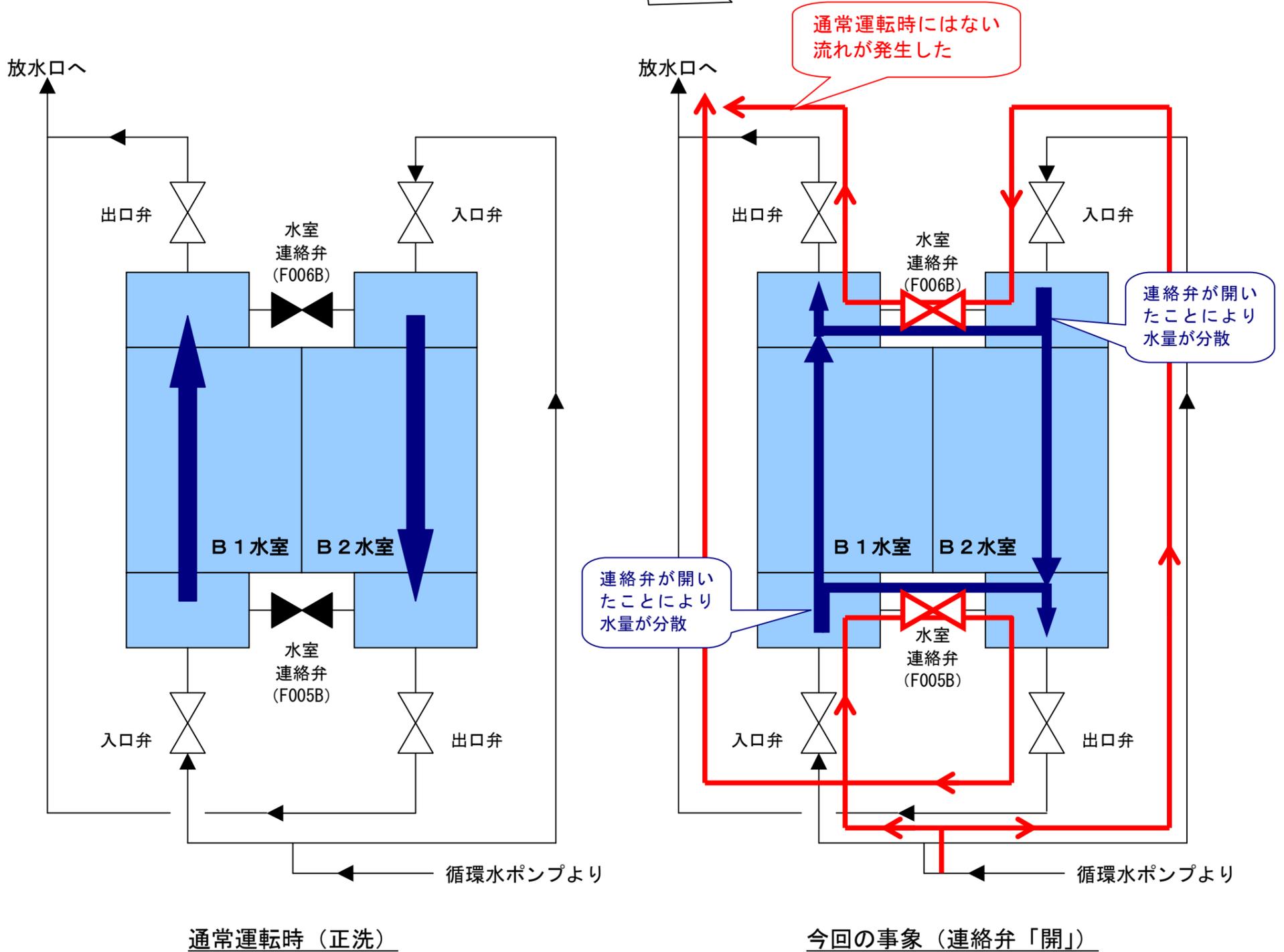
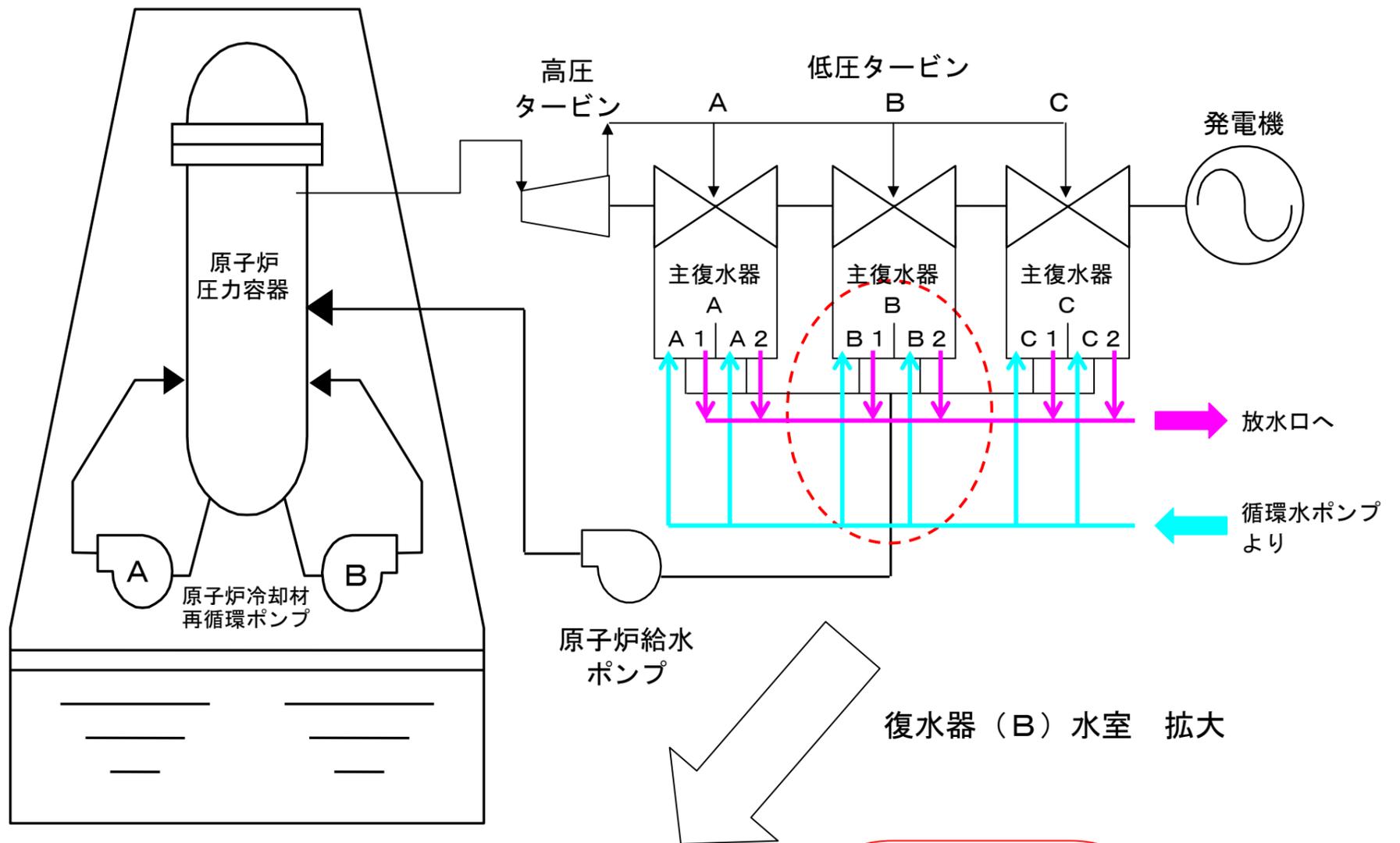


区分：Ⅲ

号機	1号機	
件名	運転中の1号機における一時的な電気出力の変動について	
事象の概要	<p>平成 22 年 8 月 21 日午前 2 時 44 分頃、定格熱出力一定運転中の当所 1 号機において、一時的に電気出力が約 111 万 4 千キロワットから約 110 万 1 千キロワットまで、約 1 万 3 千キロワット低下しました。</p> <p>ただちにプラントの運転状態を確認したところ、3 台ある復水器*¹のうち 1 台（B）において、海水が流れる配管を定期的に洗浄する操作が終了した直後、復水器（B）の連絡弁*²が開いたことにより、水室内へ流れる海水の量が減少したため復水器の真空度が低下し、電気出力が低下したことがわかりました。</p> <p>そのため、速やかに運転員が当該連絡弁を閉めたことで復水器の真空度が復帰し、同日午前 2 時 57 分頃、電気出力も約 111 万 4 千キロワットに復帰しました。</p> <p>事象発生時も含め、現在も原子炉は定格熱出力で安定的に運転しており、また本事象による安全上の問題や外部への放射能の影響はありません。</p> <p>* 1 復水器 タービンを回した蒸気を海水により冷却し水に戻す機器。1 号機には 3 台の復水器があり、それぞれの復水器内には 2 つの水室がある。</p> <p>* 2 復水器（B）の連絡弁 復水器の 2 つの水室をつなぐ弁であり、この弁を開にすることにより、復水器内の配管の海水の流れを逆にし、配管内を洗浄するための弁。</p>	
安全上の重要度／損傷の程度	<p><安全上の重要度></p> <p>安全上重要な機器等 / <u>その他設備</u></p>	<p><損傷の程度></p> <p><input type="checkbox"/> 法令報告要</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 法令報告不要</p> <p><input type="checkbox"/> 調査・検討中</p>
対応状況	現在、水室をつなぐ連絡弁が開いた原因について、調査中です。	



1号機出力変動時 復水器内水量変動概念図